

はばたき21 通信

2024.3
No.47

それぞれの
“おひとりさま”
模様



●特集

それぞれの“おひとりさま”模様

- おひとりさまシニアインタビュー 「私らしく、ひとりを生きる」
- ひとりでも、自分らしく、安心して生き続けられる社会に
- 寄稿
見過ごされている中高年シングル女性の貧困
ノンフィクションライター／大学講師 飯島 裕子 さん

◆開催！ 2023 みんなのはばたき21フォーラム
～多様性を認め、共に助け合うまち“たいとう”～

- ◆街で感じる 男女平等参画
- ◆「はばたき21」講座レポート
- ◆気になる数字
- ◆たいとうのキラッとさん紹介
- ◆「はばたき21」情報コーナーおすすめ図書案内

たいとうのキラッとさん紹介

誰にとっても相談しやすい人でありたい

深井 喜代子 さん 台東区民生委員・児童委員協議会会長



主任児童委員、そして現在は民生委員として、長年高齢者や障害のある方、子育て中の方などに寄り添ってきた深井さん。生活上の様々な相談に対応し、必要なサービスなどが受けられるようにお手伝いをする存在として、「誰にとっても相談しやすい人であろうと、日頃から心がけています」と語る笑顔が、印象に残っています。

そんな深井さんがこれから注力したいと考えているのが、災害時、民生委員にどのような活動ができるのかということ。例えば、避難所に民生委員が待機するブースを設けて、被災者の相談にあたってはどうか。また、お寺が多い台東区の特徴を活かして、被災者の休憩場所にお寺を活用させてもらえないかといった数々の案を、熱心にお話ししてくださいました。

さらに、ヤングケアラーの問題にも関心があり、情報収集のための方策などを模索しているそうです。

「民生委員になったおかげで、いろいろなことを知ることができ、たくさんの人と出会い、話せて楽しかった。大変なこともあったけれど、いい人生経験ができたと思っています」。そう振り返る深井さんから活動に関する様々なお話を伺い、必要としてくれる声へ全力で応えるという姿勢や、適切な支援につなげることの大切さを教えていただきました。

情報を寄せることが一歩になるとのことで、助けが必要と思われる方がいたら、民生委員の方につなげるようにしたいと思いました。

「はばたき21」情報コーナーおすすめ図書案内

おひとりさま[老後生活]安心便利帳
扶桑社



ひとりでも安心して老後生活を過ごせるように、日常生活から入院・介護、葬儀・相続まで、おひとりさま高齢者が抱える様々な心配事を解決する手段やサポートを解説する。

なぜ男女の賃金に格差があるのか
女性の生き方の経済学

クラウディア・ゴールドティン著 鹿田昌美訳 慶應義塾大学出版会



1900年代から今日まで、大学教育を受けた女性たちがいかになってキャリアと結婚・子育て問題に向き合い、どんな障壁に直面してきたかを論考する。著者は、2023年ノーベル経済学賞を受賞。

フェミニスト紫式部の生活と意見
現代用語で読み解く「源氏物語」

奥山景布子著 集英社



「ホモソーシャル」「シンデレラ・コンプレックス」「ルッキズム」「おひとりさま」といった現代的なキーワードを切り口に、古典である「源氏物語」を、ジェンダーやフェミニズムの視点から読み解いていく。

編集後記

*単身高齢者が増えているというデータの中には、それぞれの生き方・暮らし方・感じ方、そして、様々な事情や困難を抱えたおひとりさまがいらっしゃいます。その方たちの声を聞くことの大切さを感じました。家族の形が多様化し、家族観も変化している今、誰もが当事者になり得ることとして、おひとりさまシニアの現状に沿った課題の解決について考えていただければと思います。(1)

*台東区に移り住んで30年ほど。ふところの深い街がいくつもあって、飽きることはありません。“おひとりさま社会”のよきモデル地区になることを期待します。

情報誌編集委員 梶原 雄

*本号はこれまでと少し違った視点での特集を企画しました。子どもから大人まですべての人にとって生きやすい社会であってほしいと思います。

情報誌編集委員 木村 泰子

編集・発行：台東区立男女平等推進プラザ「はばたき21」
場所：台東区西浅草 3-25-16
(台東区生涯学習センター 4階)
電話：03-5246-5816
※日曜・休館日以外の午前9時～午後5時
開館時間：午前9時～午後10時
休館日：第1・第3・第5月曜日
(祝日にあたる場合はその翌平日)
年末年始(12月29日～1月3日)

はばたき21

検索

再生紙を使用しています。

